

**安心・希望の町へみなさんと
力をあわせて実現します**

日本共産党をのばせば政治は変わります

- 国民健康保険の都道府県化に反対、
1世帯年1万円の引き下げを求めます。

- 介護保険料の引き下げを求め、利用しやすい
介護保険制度と充実に力を尽します。

- 学童保育の充実、通学路の
安全確保につとめます。

- 小中学校への太陽光発電の設置をめざします。
小中学校へのエアコン設置を求めます。

- 高校3年生までの医療費完全無料化をめざします。
住宅リフォーム助成制度の復活。

- デマンドタクシーの実現に力を尽します。
高齢者医療費の負担軽減。障がい者の「応益負担」を
やめさせます。

- 価格保障・所得補償を求め、地域農業の発展に力を
尽します。



財源は
あります

国の指示で町職員や福祉などをけずつてためこんだ
財政調整基金（9億円）をいのち・くらし・ふるさとを
まもるために活かします。

戦争法案ストップ

安倍政権の暴走に「待った」

いのち・くらし・ふるさとを守る



日本共産党

八千代町
議會議員

大久保ひろ子

プロフィール

- 昭和22年（1947年）生まれ
- 下館第二高等学校卒業
- 昭和60年（1985年）音楽教室開設
- 現在／町議會議員2期 下妻母親連絡会副会長
- 趣味／絵画・エレクトーン
- 家族／長男夫妻・次男

皆様のご支援を心からお願
いいたします。

安倍暴走政権のもと、いま
ほど町議会・議員の果たす役
割が問われている時ではないと
感じています。「国・県いなり」
では町民の暮らしは守れま
せん。議員の一番の仕事は、住
民の声を議会に届けること。
私に引き続きこの仕事をさ
せてください。全力で頑張り
ます。

みなさんのお力添えて、議
会に復帰させていただき感謝
の気持ちでいっぱいです。
今、戦争か平和かが大きく
問われています。日本の若者
を再び戦争に送らないために、
戦争法案ストップの訴えを連
日おこなっています。

一人ひとりが大切にされる世の中に

大久保ひろ子

自然にかこまれて育った子どものころ、「なんで世の中には貧しい人と富める人があるんだろう」と素朴な疑問を持ちました。中学生のころ「真面目に生きたい人や弱い立場の人の人生を経済的な事情が妨げているのでは」と思うようになりました。

19歳のころ、平和で平等で、誰もが安心してくらせる世の中を目指す日本共産党に出会いました。

八千代町に住みはじめて、病気の夫と4人の子どもを抱えて、どう生きるか悩んでいたころ、自分の生き方を大切にしたいという思いで日本共産党に入党しました。

だれもが人間として尊重され、1人ひとりの命とくらしが大切にされる世の中に生きたい—私の何よりの思いです。



いのち・くらし・ふるさとを守るために 国でも町でも政治が果たす役割が大きく問われています

- 戦後70年。町長の認識をただし、非核平和都市宣言を求めました。
- 予算を生かすため積極的に提案。
 - ① 住宅リフォーム助成制度の復活
 - ② 商店街のリユースアル助成
 - ③ 小中学校へ太陽光発電とエアコン
 - ④ 米粉パン作りを研究し学校給食へ

大久保ひろ子

日本共産党

八千代町議会議員

みなさんと力を合わせてがんばります

町民の願い届け
積極的に発言



対話の中で寄せられる声は、どれも切実なことばかり。
国や県の悪政から、町民の命とくらしを守る立場で賛成・
反対の意見を述べ、提案しています。

しっかり調査

現場の声を聞き、全国の優れた経験に学び、要望実現に粘り強く取り組んでいます。

必ず報告

「民報八千代」「議会ニュース」を発行しています。

町民の疑問や批判にこたえる

道義的問題での町長への疑惑が、マスコミでとりあげられました。
訴えに基づく司法の調査は当然です。一方で、議会にも、町民から出されている疑問や批判に応える責任があります。この立場から、「眞偽もふくめて明らかにすべき」と調査のための特別委員会設置をもとめてきました。

1月にふたたび議会へ 送つていただき、さっそく 公約実現に全力



● 国保税と介護保険料値上げに、

切実な声を届けて反対したのは
日本共産党大久保ひろ子だけです。

さらに引き下げる
提案をしました。

● 子ども医療費の

完全無料化と制度の
拡充について提案

しました。

戦争法案・安倍政権の暴走ストップ

町民のくらしと農業を破壊する

消費税10%は中止、新しい道へ

「アベノミクス?景気はさっぱりだ」「消費
税10%になつたら、やつていけなくなる」と
切実な声がよせられています。

日本共産党は消費税に頼らない別の道を提
案しています。



STOP安倍政権! 6.13大集会
この日はたいへん暑い日でした。地元のみなさんと全国的な集会にも思いを持ち寄って参加しています。

若者の命をうばう 戦争法案は廃案に

「安倍さんは怖いね」「このままだと戦争になるよ」と不安や批判が広がっています。戦争体験を語る方も増えています。

行動する若者たちの勇気、「誰の子どもも殺させない」と行動し始めたたくさんのお母さん。

同じ思いで、戦争法案ストップのために全力をあげています。



農協改革は自主性尊重を TPPは撤退

主権を売り渡すTPP、反対する農協は解体のやり方に「八千代の農業がなくなってしまう」と悲痛な声があがっています。

TPP撤退署名をひろげ、農業団体を訪問・懇談し、農業と地域を守るための共同をひろげています。

原発再稼働を許さず 自然エネルギーへの転換を

「風評ではすまなくなる」と不安の声。
草の根の共同で、東海第2原発廃炉を求める意見書が議会で採択されました。これからは、自然エネルギーいかす街へ。

